

活動団体： 特定非営利活動法人 Colorbath

～ひろがれ、セカイ～

団体の活動



NPO 法人 Colorbath は「ひろがれ、セカイ」を理念に、日本・ネパール・マラウイで教育事業と社会課題解決型ビジネスを展開しています。現地ニーズに基づく活動と持続可能な事業化を両立させ、現場で得た学びはラーニングプログラムとして日本企業や国際強力に関心のある個人にも提供。世界の課題に「自分ごと」として向き合う人材育成にも貢献しています。

<https://color-bath.jp/>

インターンプロフィール



マラウイの若手起業家を支援



農村部の小学校で衛生指導

島村 紀穂

2000 年東京生まれ。学生時代には平和構築 NGO でのインターンを経験し、卒業後はコンサルティングファームで官民連携やエネルギー分野の調査・実証支援に従事。2024 年に Colorbath に参画。2025 年度の採択では、アフリカ・マラウイにおけるエコエネルギー事業やイノベーション事業に主に従事。

所属団体で活動するきっかけ

前職勤務先のイベントで団体の代表であった吉川と出会い、ビジネスと社会課題解決を両立する活動に共感し参加しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

アフリカ事業・国内事業の双方に加え、新規事業の企画立案・実行も行っています・アフリカ・マラウイではエコエネルギー事業の推進を担当し、現地でのソーラーボイラーや農作物廃棄物を利用した燃料ブリケットの製造・供給体制の構築、事業の実現可能性の検証や改善提案を実施しています。また、日本企業とともに産官学を巻き込んだ起業家支援のための国際フォーラムの企画運営も実施しており、前回実施時には400人の参加を実現しました。2026年度からは、新しくJICA草の根業務として、農村部での衛生環境向上プロジェクトを開始し、プロジェクトマネージャーとして従事しています。国内では広報活動のマネージャーを担当し、SNS・メルマガ・ラジオ等の発信の戦略立案・フィードバックを行っています。新規事業として、企業の海外研修の提案・営業、世界銀行の教育部門との協働を開始しています。

1年目を終えて感じたこと

現場は「人」でできている：「途上国」「ドナー」も一様ではなく、それぞれに関わる人の思い、悩み、困難があり、それを受け止めて最適化して進めていく事が重要と感じました。

「価値」にこだわる：自らの大義を持って「自走」を求める前に、現地にとっての「価値」や「動機」を提供できているか、相手の立場に立って考えることが重要と学びました。

それでも進む：変わらない構造や現状、組織のせいにするのではなく、それでも現状を受け入れて最善のために汗を流して進み続けることで、見えてくるものがある、と思うことができました。

スキルアップのためにしていること

視野や知見を広げるため、ビジネス・ソーシャル双方の分野での人的ネットワークを広げたり、AIを活用した業務効率化や知識のインプットにも取り組んでいます。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

アフリカ・マラウイの首都リロングウェにて、国際カンファレンス予選・本選の実施、スポンサーへの営業活動、現地大使館・国連機関等との連携協議に従事予定です。

今後のビジョンは？

現地で持続可能かつ黒字化する事業を、社内起業のような形で創出し、課題解決と事業成長を両立させたいです。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

国際協力の「王道」や「常識」にとらわれず、自分の感性やワクワクに従って生きよう！Bπ

団体のアピール

「1 人の 100 歩より 100 人の 1 歩」をコンセプトに、海外での学びをラーニングプログラム化し、世界の見え方を広げる体験を届け、社会の豊かさに貢献します。